学校番号	3010

令和8年度　　美術　　科

教科	美術	科目	造形表現Ｂ	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

幅広いデッサン制作を通じて、理論と実践の両面から高度な実技力を身につけていきます。１年間をかけて静物モチーフや石膏像、水彩画など各自の目標に合わせた制作を繰り返していきます。講評会では、自身の作品について言語化し、他者の表現も参考にしながら課題解決にも努めていきます。これらの学びを通して、進路に活用できる観察力や表現力、美的に思考する力、目標達成に向かう計画力の向上を目指します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
造形や現象の成り立ちを理論的に捉えることができる。また描画材の特性を理解し適切に操ることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
課題内容を正確に理解し、意図に応じて創意工夫して的確な表現をすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
目標に合わせて必要な技術や考え方、課題解決能力を主体的に身に付けることができる。 また見通しを立てて計画的に制作に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象を造形的に捉える視点を持ち、理解を深めようとしている。 ・表現方法を創意工夫する中で、必要な技術や制作手順を身に付けることができる。 ・目標とする表現に合わせて、適切な画材や技法を選択している。	・課題の主旨を的確に理解できる。 ・意図を持って主題を生成し、制作に取り組もうとしている。 ・造形的な良さを意識しながら制作を進めることが出来ている。	・自ら目標を設定し、創意工夫して課題制作に積極的に取り組もうとしている。 ・他者の表現も参考にしながら課題の解決に取り組もうとしている。 ・設定した目標に向かって、計画的に制作することが出来る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎デッサン	【幾何形体のデッサン】 円柱や立方体、球など、基本的な幾何形体を複数個組みあわせてデッサン制作を行う。 【講評会】 自身の作品のプレゼンテーションや他者の作品の鑑賞を通じて、各自の課題の解決方法について考える。	a：対象の持つ形や色、質感の成り立ちが正確に理解できているか。また描画材料は適切に扱えているか。 ｂ：出題された課題の意図を理解し、構図構成などが創意工夫され的確に表現されているか。 ｃ：課題内容に興味を持ち、目標に向かって計画的かつ前向きに取り組もうとしているか。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 講評会参加の様子 作品の提出状況
	細密デッサン	【細密デッサン】 サザエの貝殻や電球などの複雑で表情豊かなモチーフを時間をかけて細密に描く。 【講評会】 自身の作品のプレゼンテーションや他者の作品の鑑賞を通じて、各自の課題の解決方法について考える。	a：対象の持つ形や色、質感の成り立ちが正確に理解できているか。また描画材料は適切に扱えているか。 ｂ：出題された課題の意図を理解し、構図構成などが創意工夫され目的に合わせて的確に表現されているか。 ｃ：課題内容に興味を持ち、目標に向かって計画的かつ前向きに取り組もうとしているか。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 講評会参加の様子 作品の提出状況
2学期	応用デッサン	【応用デッサン】 各自が目標を設定し、それに合わせて主題や課題を設定してデッサン制作などを行う。 【講評会】 自身の作品のプレゼンテーションや他者の作品の鑑賞を通じて、各自の課題の解決方法について考える。	a：対象の持つ形や色、質感の成り立ちが正確に理解できているか。また描画材料は適切に扱えているか。 ｂ：出題された課題の意図を理解し、構図構成などが創意工夫され目的に合わせて的確に表現されているか。 ｃ：課題内容に興味を持ち、目標に向かって計画的かつ前向きに取り組もうとしているか。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 講評会参加の様子 作品の提出状況
3学期	水彩画	【水彩画】 各自が主題としたいモチーフを持参し、水彩絵具を使って細密に描写する。 【講評会】 自身の作品のプレゼンテーションや他者の作品の鑑賞を通じて、各自の課題の解決方法について考える。	a：対象の持つ形や色、質感の成り立ちが正確に理解できているか。また描画材料は適切に扱えているか。 ｂ：出題された課題の意図を理解し、構図構成などが創意工夫され目的に合わせて的確に表現されているか。 ｃ：課題内容に興味を持ち、目標に向かって計画的かつ前向きに取り組もうとしているか。	画材の使用状況の観察 造形要素についての理解度	制作プロセスの観察 表現方法の工夫 度合いと創造性の 度合い	学習活動の様子 講評会参加の様子 作品の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度